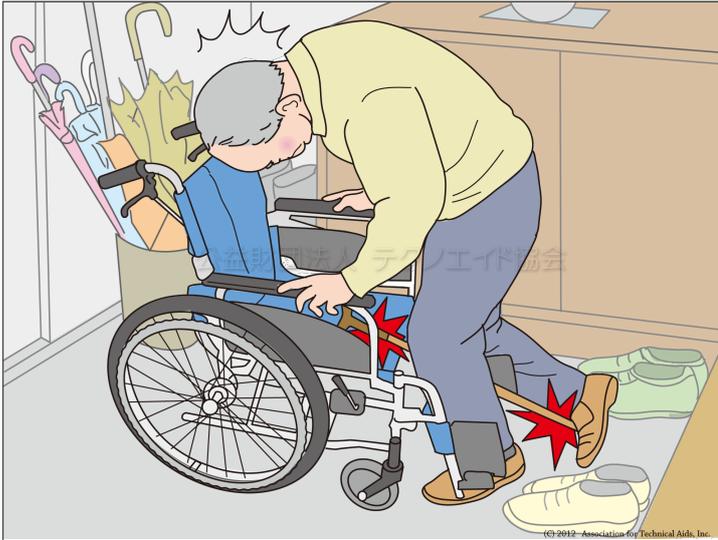


Case : 280

立てかけていた杖が座面に倒れ、転倒しそうになる

場面の説明

アームサポートに立てかけた杖を足で引っかけてしまい、転倒しそうになった



利用シーン	 移動
主な利用場所	 玄関
介護保険の種目	—
分類コード (CCTA95)	120303 (ステッキ・T字杖)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

杖を車いすのアームサポートに立てかけ座ろうとした際に、杖が足に引っかかり倒れてきて足に絡まり、転倒しそうになった事例です。テーブルや壁などに立てかけた杖が倒れてしまうことは多くの方が経験していると思いますが、この事例からひとつ間違えると動作の妨げになり、大ケガにつながりかねないヒヤリ・ハットだということがわかります。安全なところに杖を置くことや、杖を倒れにくくする工夫など、万々に備えた対応が大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：杖を安定した場所に立てかけていなかった

人：杖が倒れても、その後大事に至るようなことはないと思っていた

環境：杖が倒れて危険な状態になる可能性があることを予測できて指摘してくれる人がいなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 280

立てかけていた杖が座面に倒れ、転倒しそうになる

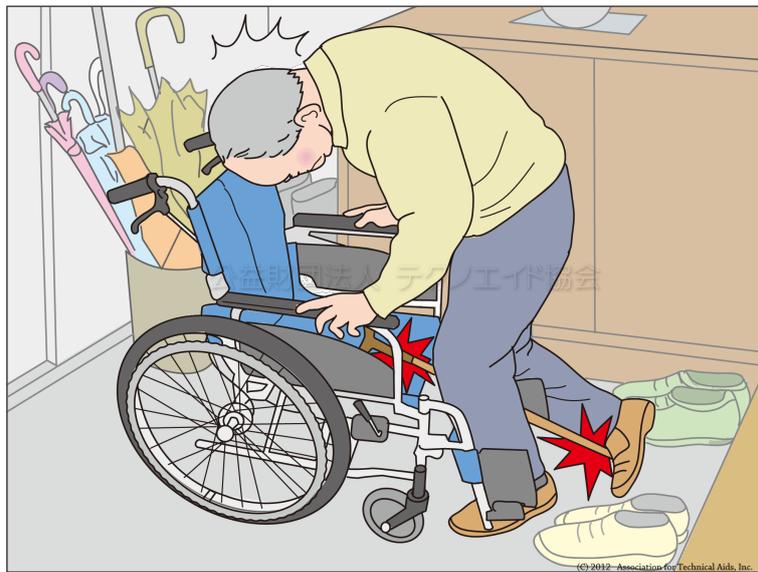
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

アームサポートに立てかけた杖を足で引っかけてしまい、転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ